

福岡県議会・令和7年6月定例会 自民党代表質問が行われました !!

令和7年6月16日（月）、自民党の香原勝司議員が「ワンヘルスの推進」について、代表質問を行われました。



香原勝司議員



服部誠太郎知事

【質 問】今後のワンヘルスの取組について

服部県政にとって、人の命と健康を守ることを最終的に目指すワンヘルスは、最も重要な取組の一つだと思うが、今後のワンヘルスに、どう取り組んでいくのか伺う。

【知事答弁】

私たちは、地球温暖化に伴い激甚化、頻発化する自然災害、新型コロナのような未知のウイルスによる感染症、生物多様性の損失、マイクロプラスチックなどの環境汚染などの深刻なリスクに直面しております。

このようなリスクから私たち自身の、そして私たちの子や孫の命を、健康を守るためにワンヘルスに取り組むことの必要性を、日常の中でワンヘルスを自分ごととして行動することの大切さを、わかりやすくご説明し、大人から子どもまですべての世代の皆様にご理解いただくことができるよう努力してまいります。

同時に、私たち自身が、日頃の生活の中や、様々な社会活動の中で一体何をすれば「ワンヘルスの実践」となるのか、様々なリスクに立ち向かうことができるのか、県民の皆様とともに考え、具体的にお示しし、**県民の皆様と手を携えて、ワンヘルスの大きな「うねり」を生み出すことができるよう取り組んでまいります。**

そして、国内外の自治体、大学、NPO、企業の皆様と連携し、**人々の命を守るワンヘルスの「輪」を広げてまいりたいと考えております。**

【質 問】ワンヘルスの認知率向上について

これまでのワンヘルスの認知率を高めるための取組や県民からの意見を踏まえ、今後、ワンヘルスを広げていくために、どのように取り組んでいくのか、知事の考えをお聞かせいただきたい。

【知事答弁】

福岡県では、これまで「福岡県ワンヘルス推進行動計画」の7つの柱に基づき、ワンヘルス宣言事業者登録制度やポータルサイトでのワンヘルスの理念を発信するなどにより、ワンヘルスの普及啓発を図ってまいりました。

また、「ワンヘルスフェスタ」の開催や「ワンヘルスの森」での森林浴ツアー等を通じ、ワンヘルスの実践を働きかけてまいりました。

しかし、将来に渡り人々の命と健康を守っていくためには、人の健康、動物の健康、そして地球環境の健全性、この3つのバランスを保っていくことが必要であるという、ワンヘルスの意義・重要性を、多くの県民の皆様にご理解いただくまでには、残念ながら至っておりません。

その結果、県民の皆様が自分ごととして、日常的に実践活動に取り組むという段階には至らず「何をしたらワンヘルスにつながるのか、もっと具体的に示してほしい」といったご意見もいただいているところでございます。

このため、今年度新たに、県民、活動団体、宣言事業者、宣言自治体、学生等により身近なワンヘルスの取組を話し合い、今後の取組を提案していただく「ワンヘルス未来会議」を開催します。

大人も子どももワンヘルスについて学び、体験することのできる「ワンヘルス体験学習ゾーン」を整備します。

幼児にも分かりやすい「ワンヘルスに関する絵本」を作成します。

このような事業を実施することとし、これらに必要な予算を今議会にお願いしているところです。

今後、「ワンヘルス未来会議」において提案された取組を、ポータルサイトやSNS、ワンヘルスフェスタ等のイベントを通じて広く県民の皆様にご紹介し、多くの県民の皆様がワンヘルスを自分ごととして行動していただき、面的に広げていくことにより、大きな「うねり」となるよう、ワンヘルスの取組をみんなで推進してまいりたいと考えています。

2025年6月18日

福岡ワンヘルス協議会・事務局